



2014年3月期 決算説明会

富士機械製造株式会社

May. 2014

※本資料における業績予想、見通し、計画等は、現時点における事業環境での入手可能な情報に基づき、当社の経営者が合理的と判断したもので、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は様々な要因の変化により大きく異なることがありますことをご承知おきください。

■ 業績説明

■ 事業方針



連結業績

連結業績実績

(単位:百万円)	12.4-13.3 実績	13.4-14.3 予想 (11月7日)	13.4-14.3 実績	対前期 増減率	予想 増減 (11月7日比)
売上高	64,349	63,000	65,565	1.9%	2,565 4.1%
営業利益	3,913	3,600	3,028	△22.6%	△571 △15.9%
営業利益率	6.1%	5.7%	4.6%	△1.5%	△1.1%
経常利益	4,406	3,900	3,786	△14.1%	△113 △2.9%
当期純利益	2,698	2,800	2,592	△3.9%	△207 △7.4%
一株当たり 当期純利益	円 27.60	円 28.64	円 26.52	注) 平成25年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を実施しております。	
一株当たり 配当金	円 22.50	円 16.00	円 16.00		

連結業績

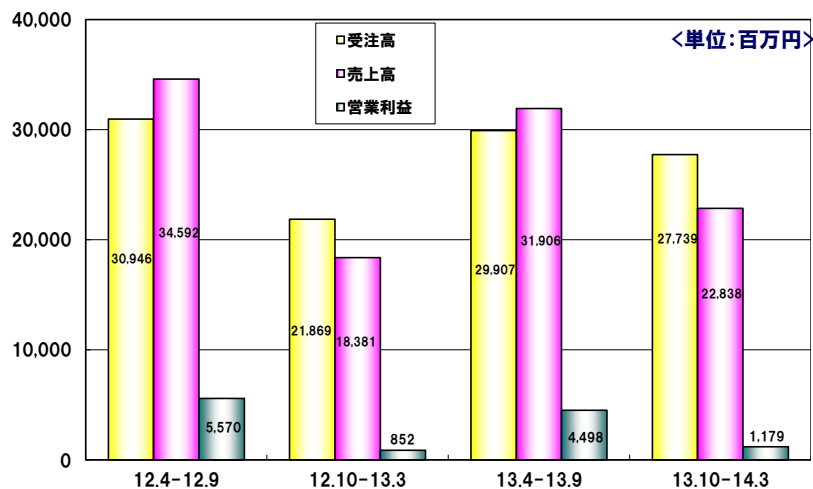
営業利益増減分析



連結業績

電子部品組立機事業

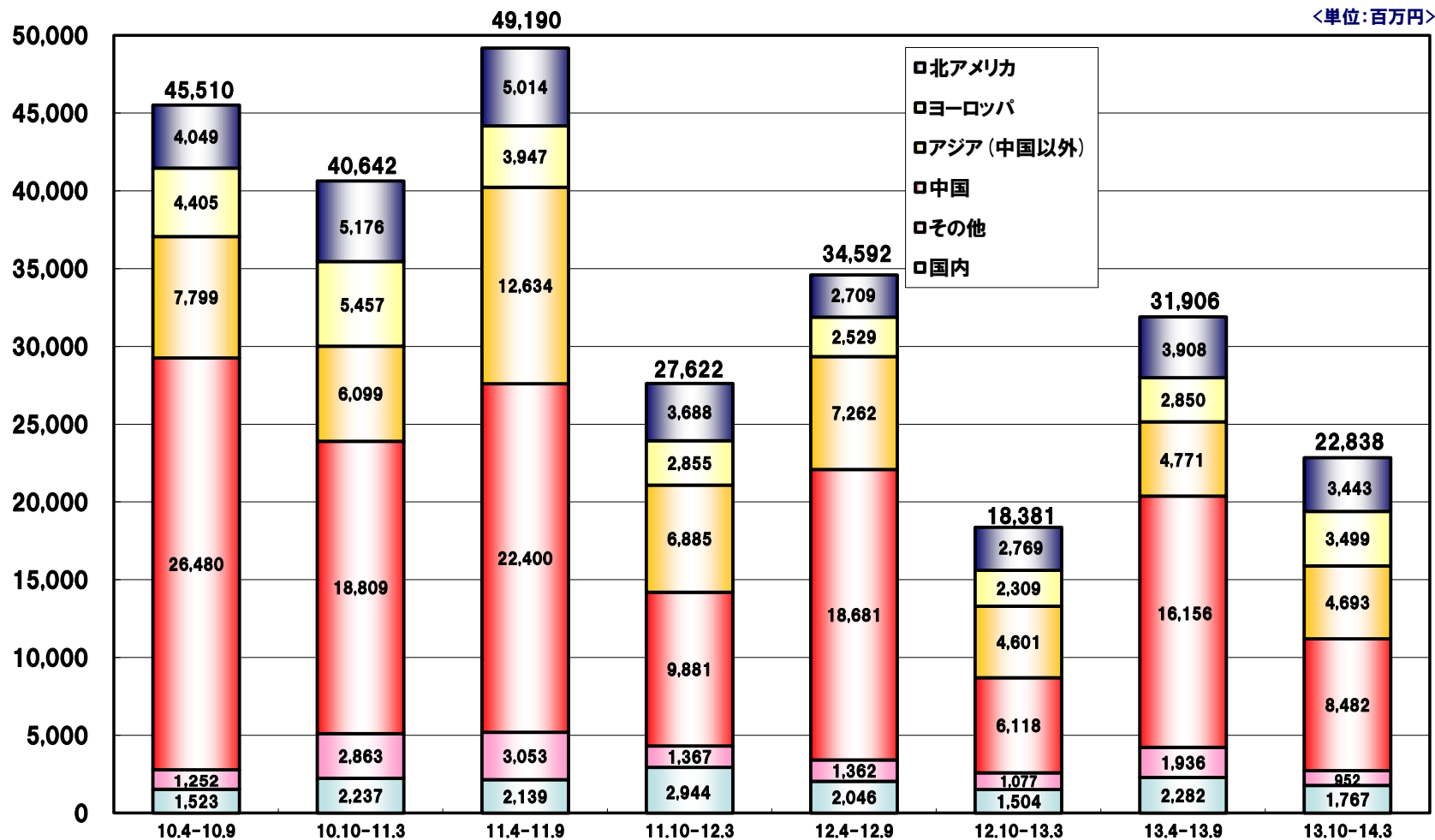
(単位:百万円)	12.4-13.3 実績	13.4-14.3 予想 (11月7日)	13.4-14.3 実績	対前期 増減率	予想 増減 (11月7日比)
受注高	52,816	52,400	57,646	9.1%	5,246 10.0%
売上高	52,973	52,400	54,744	3.3%	2,344 4.5%
営業利益	6,423	—	5,677	△11.6%	—
営業利益率	12.1%	—	10.4%	△1.7%	—



NXT III
Fuji Scalable Placement Platform

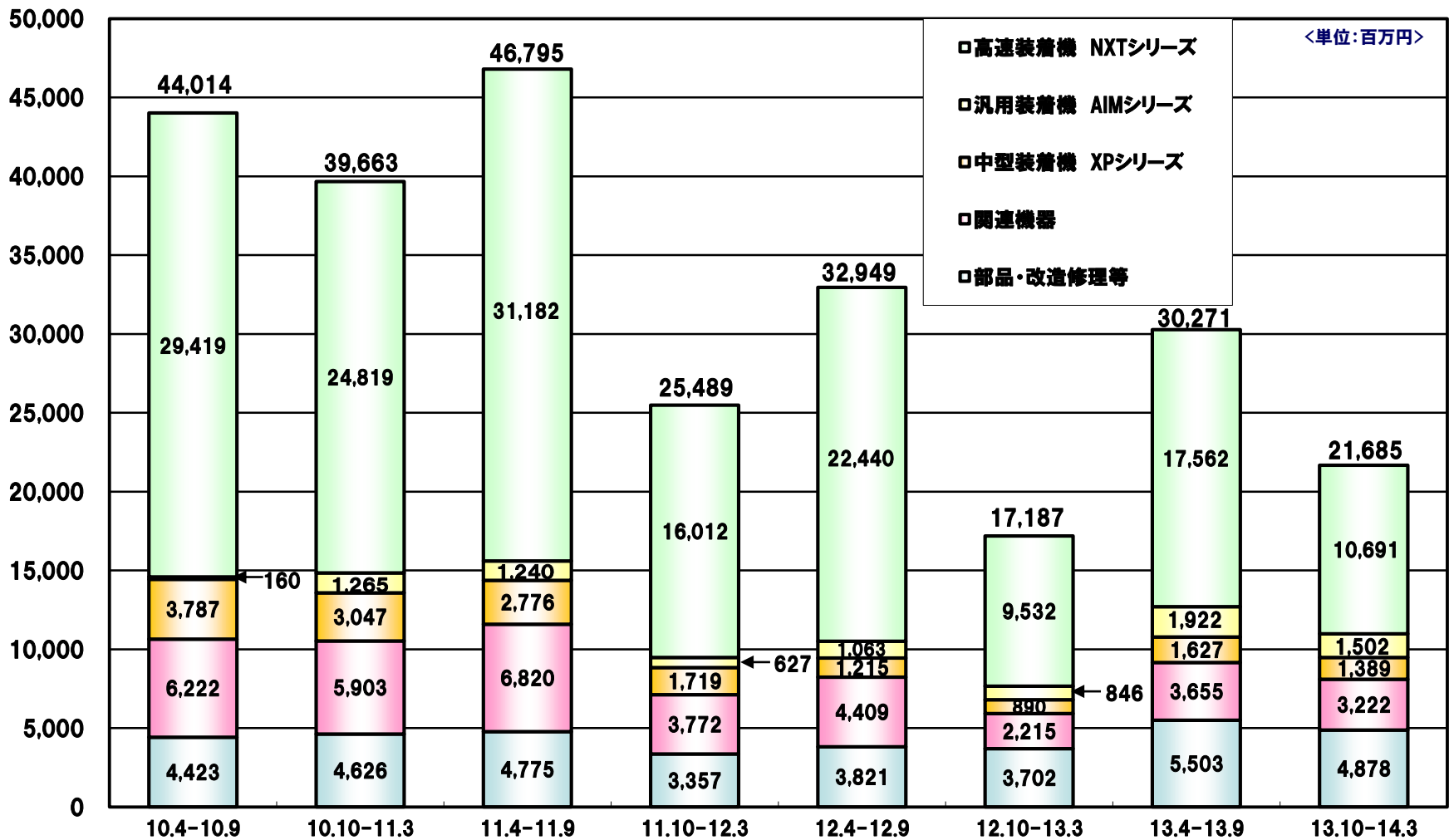
連結業績

電子部品組立機事業 地域別売上高



単体業績

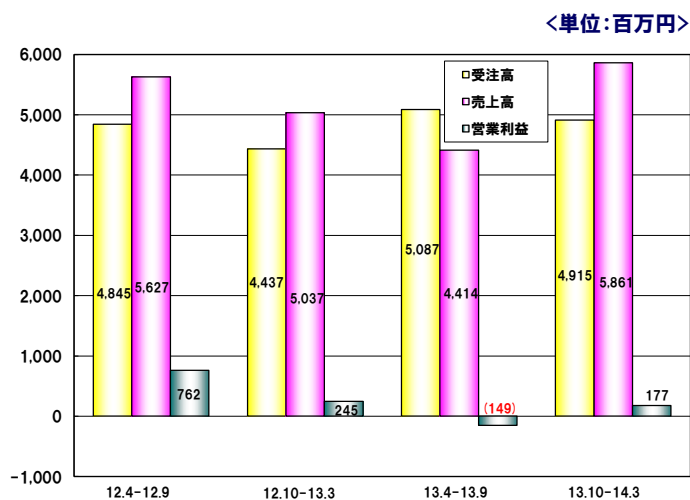
電子部品組立機事業 機種別売上高



連結業績

工作機械事業

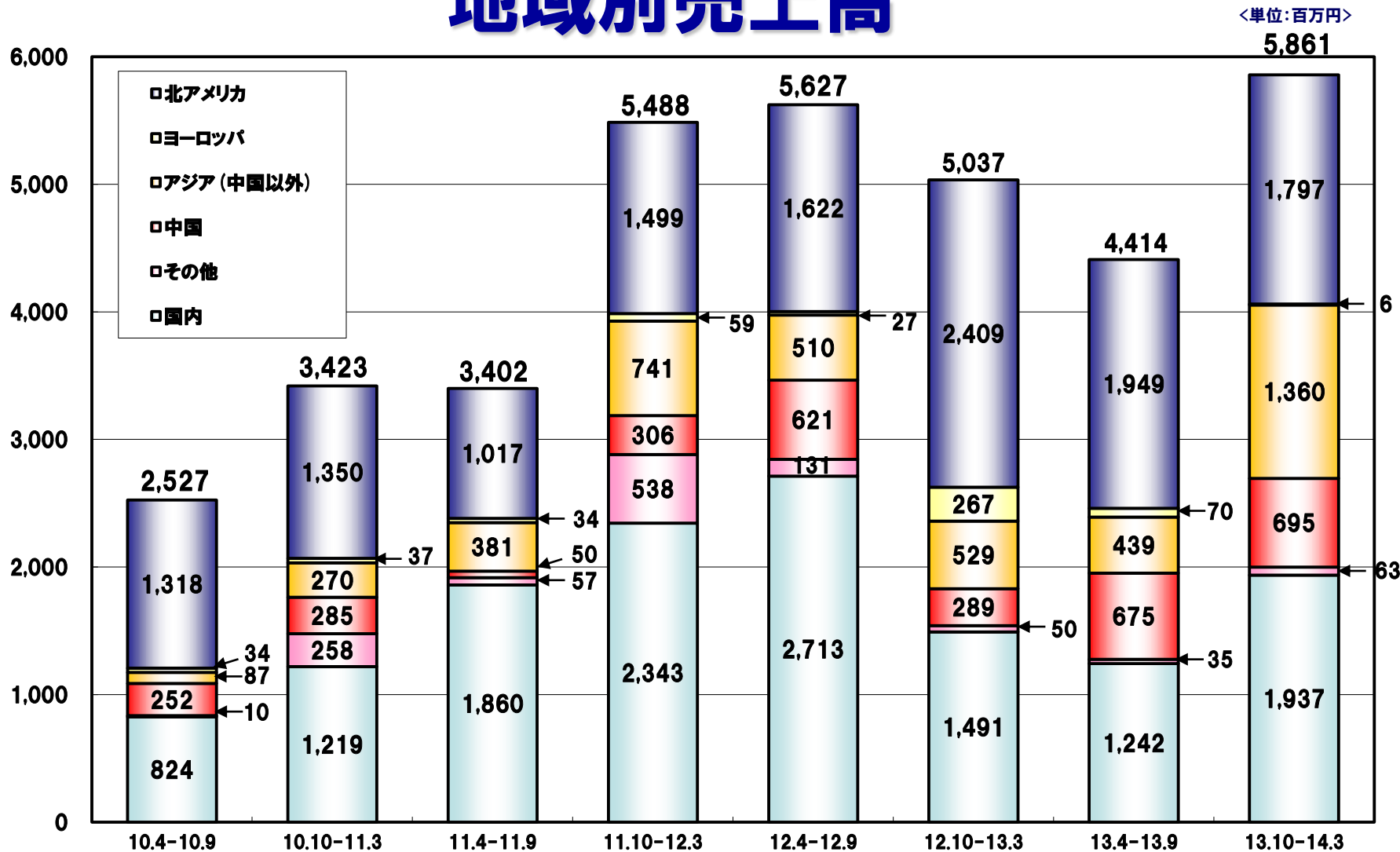
(単位:百万円)	12.4-13.3 実績	13.4-14.3 予想 (11月7日)	13.4-14.3 実績	対前期 増減率	予想 増減 (11月7日比)
受注高	9,283	12,100	10,002	7.7%	△2,097 △17.3%
売上高	10,664	10,100	10,275	△3.6%	175 1.7%
営業利益	1,007	—	27	△97.3%	—
営業利益率	9.4%	—	0.3%	△9.1%	—



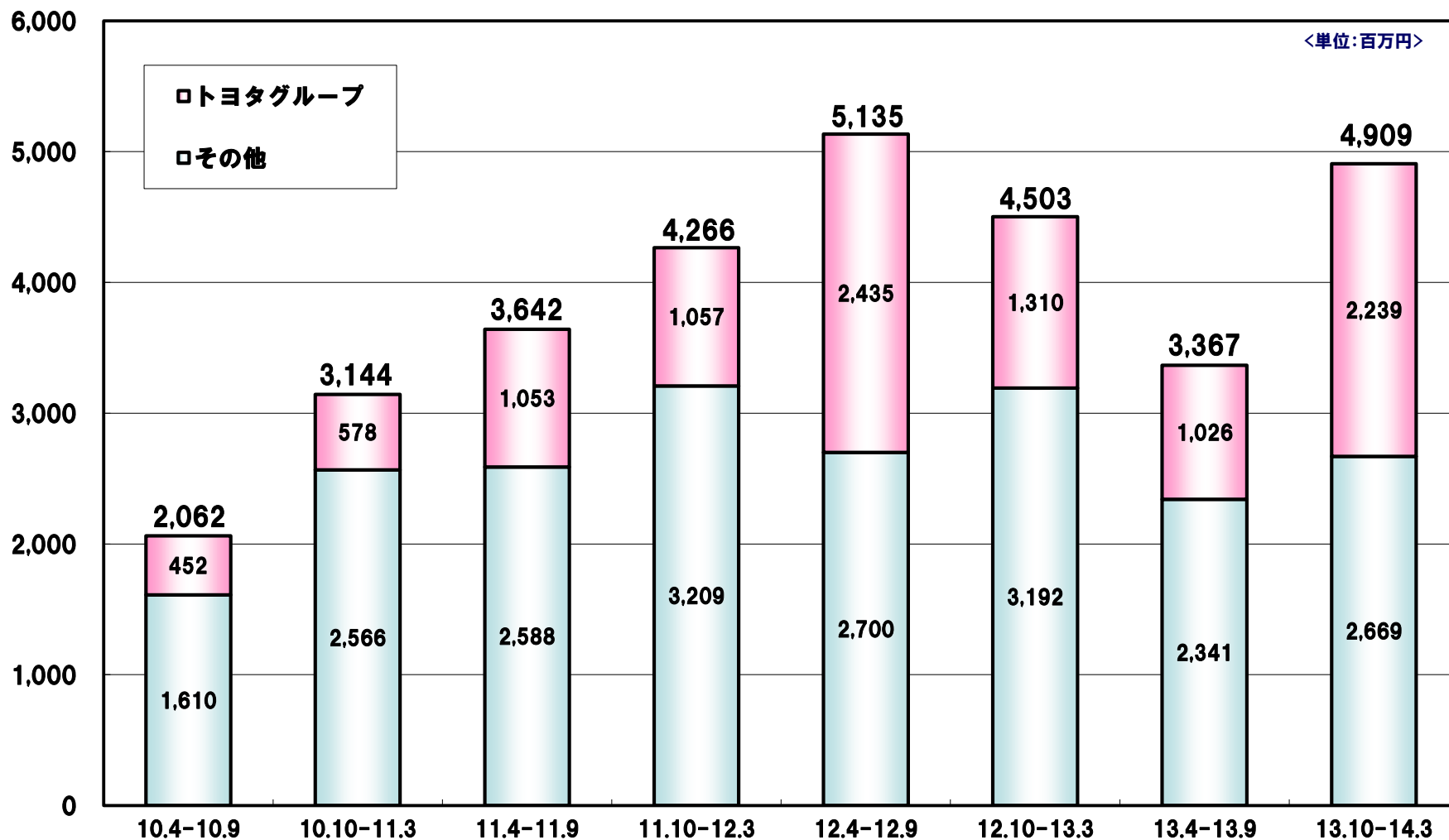
TN300

連結業績

工作機械事業 地域別売上高



単体業績

工作機械事業
主要ユーザー別売上高

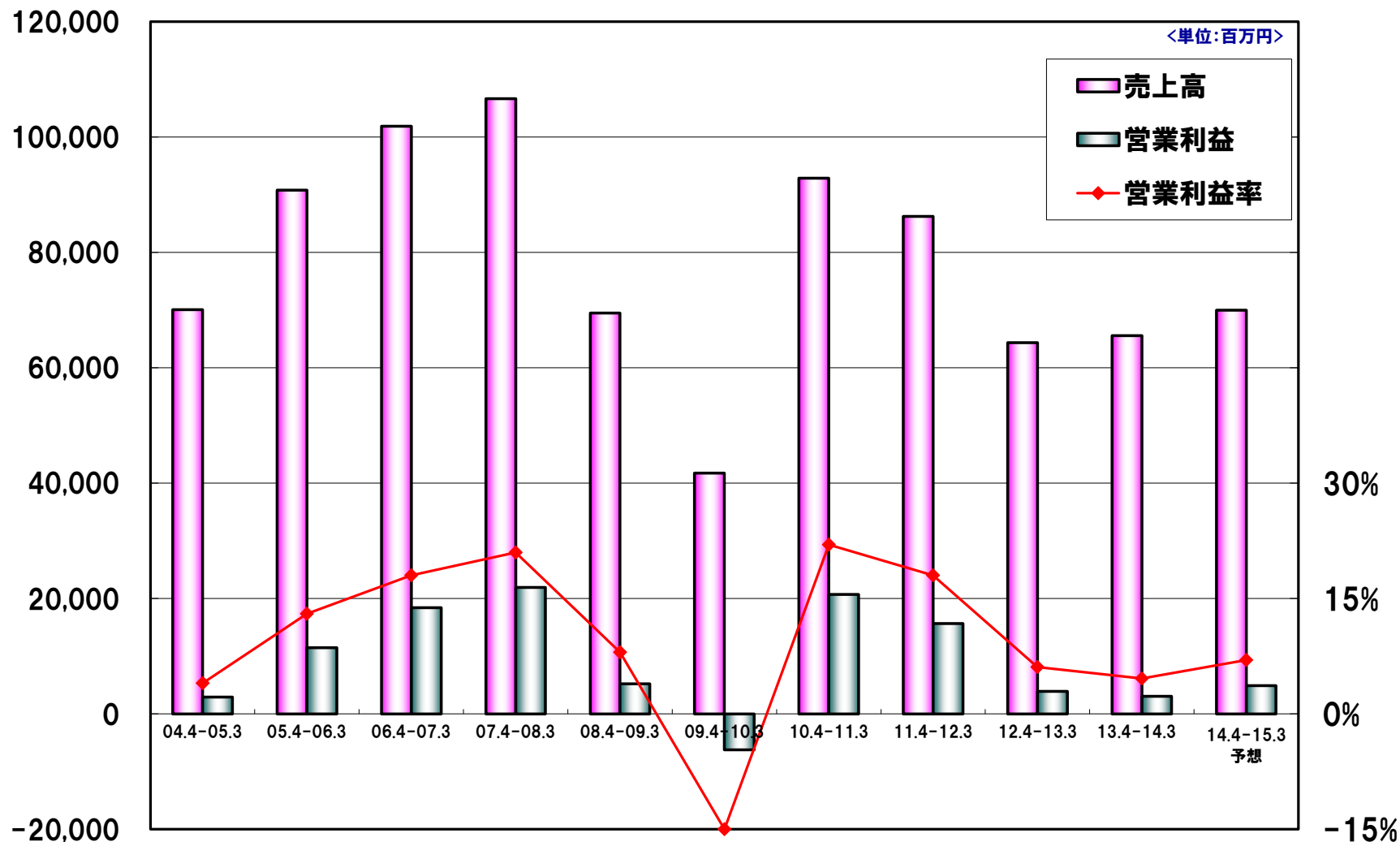
業績予想

連結業績予想

(単位:百万円)	13.4-14.3 実績	14.4-14.9 上期予想 (5月8日)	14.4-15.3 通期予想 (5月8日)	対前期 (通期) 増減率
売上高	65,565	38,000	70,000	6.8%
営業利益	3,028	3,800	4,900	61.8%
営業利益率	4.6%	10.0%	7.0%	2.4%
経常利益	3,786	3,900	5,000	32.1%
当期純利益	2,592	2,700	3,400	31.1%
一株当たり 当期純利益	円 26.52	円 27.62	円 34.78	
一株当たり 配当金	円 16.00	円 8.00	円 16.00	

業績予想

連結売上高・営業利益推移



業績予想

連結セグメント

受注高

売上高

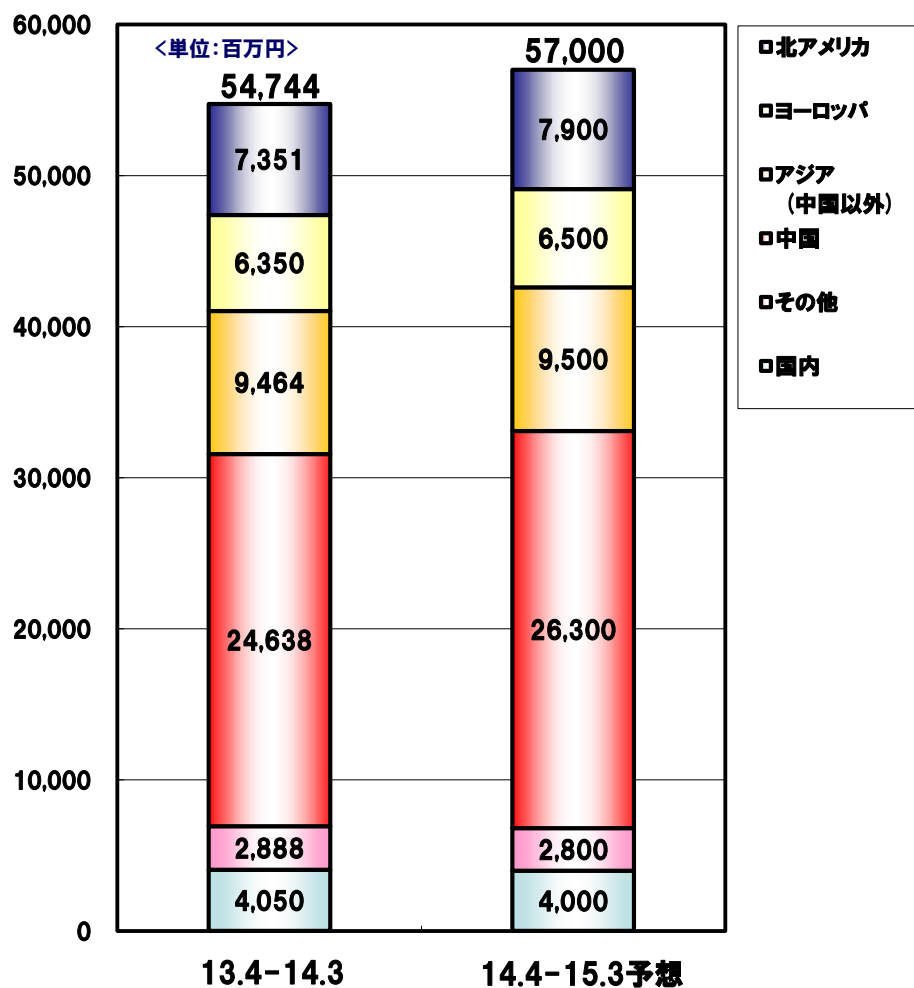
受注残高

(単位:百万円)	13.4- 14.3 実績	14.4- 15.3 予想 (5月8日)	対前期 増減率	13.4- 14.3 実績	14.4- 15.3 予想 (5月8日)	対前期 増減率	14.3 実績	15.3 予想 (5月8日)	対前期 増減率
	電子部品組立機	57,646	59,000	2.3%	54,744	57,000	4.1%	9,645	11,645
工作機械	10,002	13,000	30.0%	10,275	12,000	16.8%	3,812	4,812	26.2%
その他	619	1,000	61.4%	545	1,000	83.4%	129	129	0.0%
合計	68,269	73,000	6.9%	65,565	70,000	6.8%	13,587	16,587	22.1%

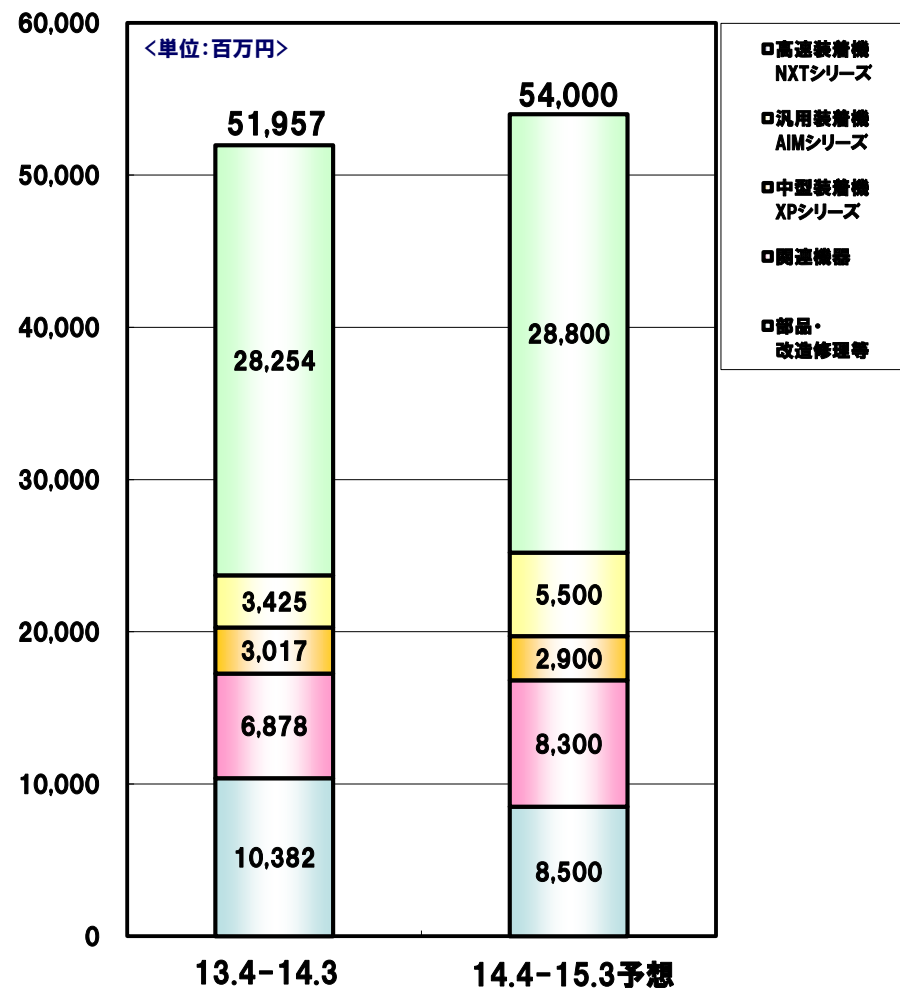
業績予想

電子部品組立機事業

地域別売上高(連結)



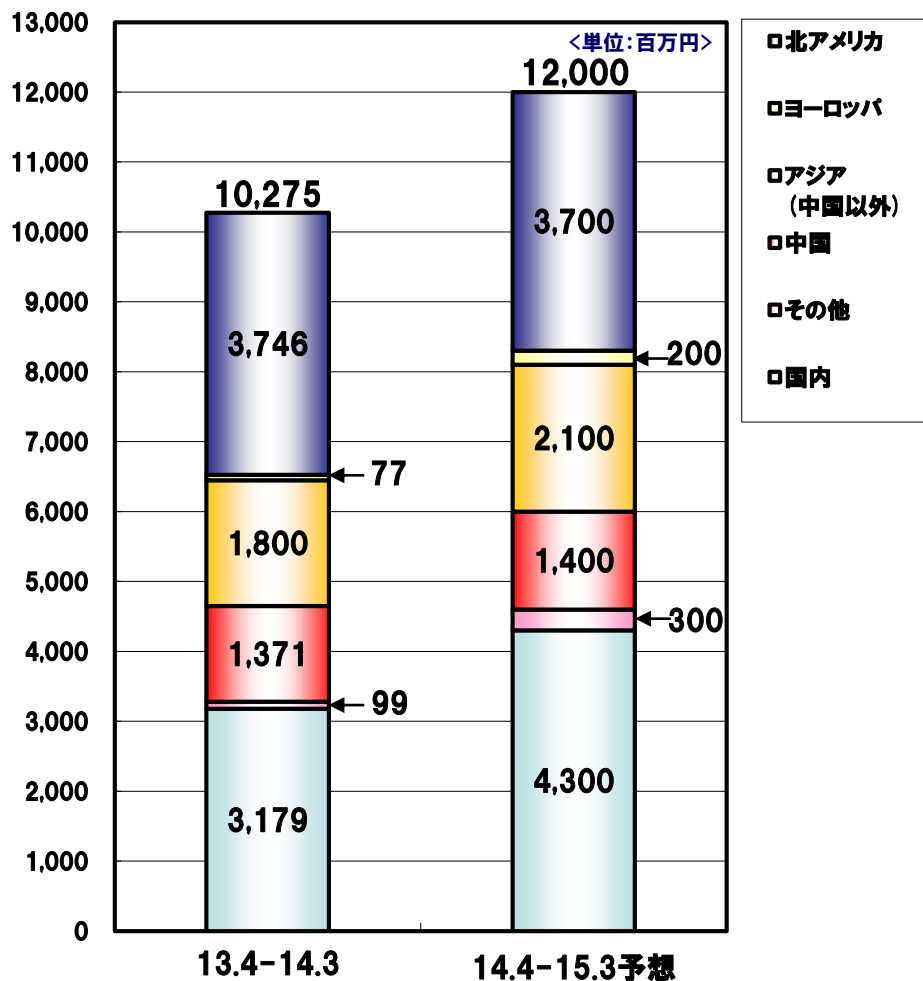
機種別売上高(単体)



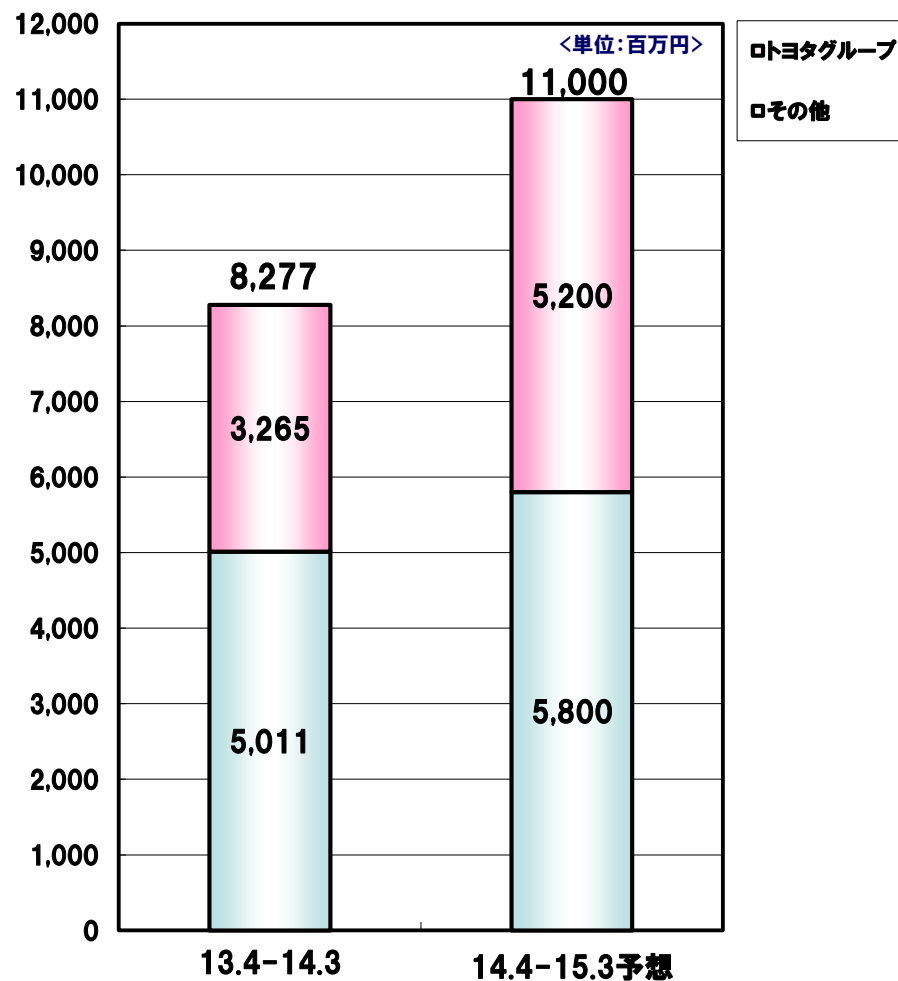
業績予想

工作機械事業

地域別売上高(連結)

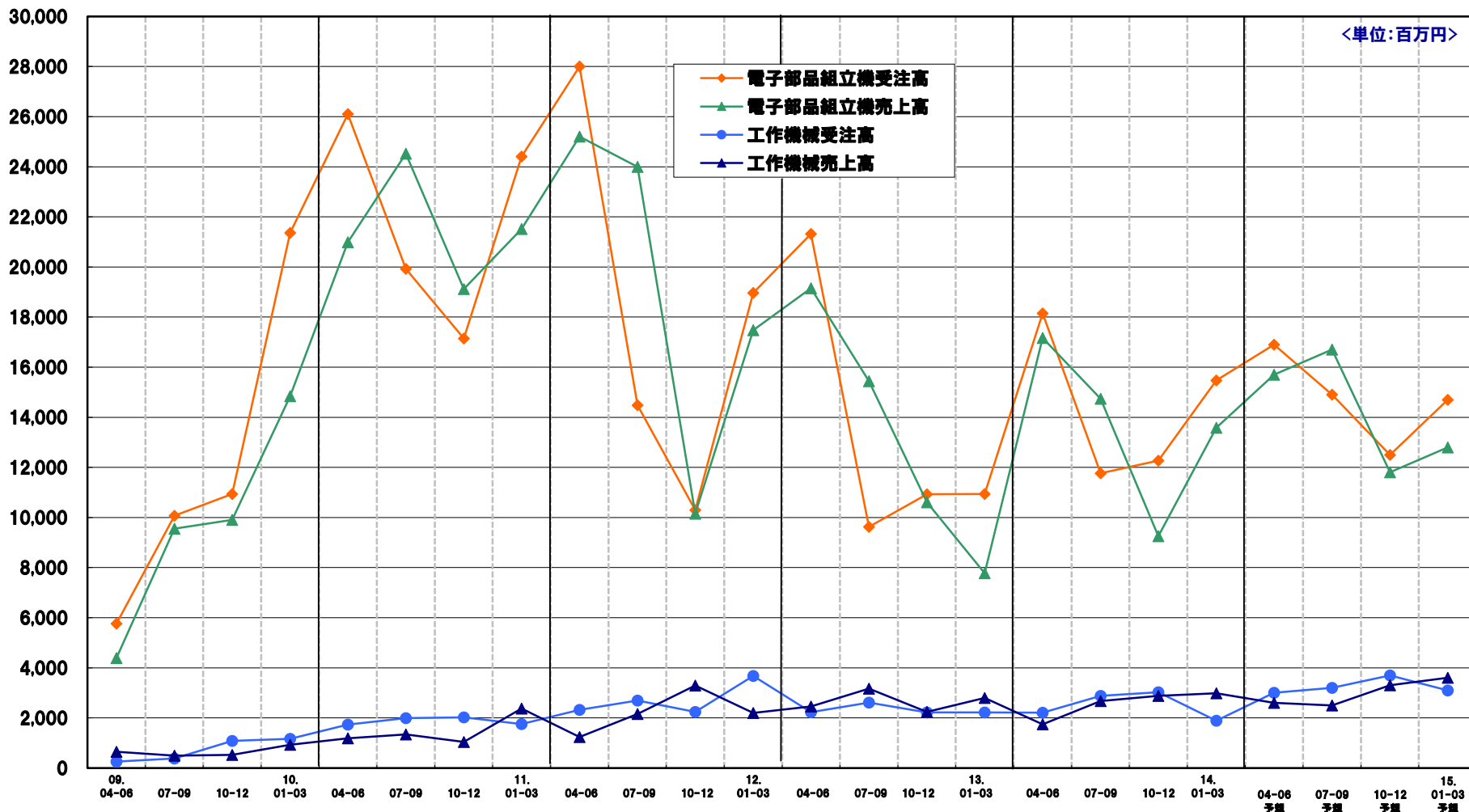


主要ユーザー別売上高(単体)



業績予想

四半期別連結受注高・売上高



■ 業績説明

■ 事業方針



経営基本方針

電子部品組立機事業

真のNo.1ブランドの確立

- ・次世代製品開発、製品競争力強化
- ・トータルソリューションの提供
- ・高い顧客満足度を創出する営業活動
- ・生産革新の実現

工作機械事業

利益体質の構築

- ・タイムリーな製品開発と市場投入
- ・中国生産と現地調達率の向上
- ・国内・海外販売網の強化
- ・生産革新の実現

スピード経営の推進

～早く知り、早く手を打つ～

Simple, Slim, Speed

新規事業

イノベーションの創出

- ・市場ニーズを先取りした商品化、事業化
- ・社会に貢献する技術開発、事業化
- ・特許戦略の強化

全社

ワークスタイルの変革

- ・組織の活性化・スリム化、労働生産性の大幅向上
- ・グローバル化の推進
- ・連結経営の強化
- ・コンプライアンスの徹底

電子部品組立機事業

事業部方針

『Market Leader30』～真のNo.1ブランドの確立～

事業環境

■マクロ経済

- 日本:金融・財政政策等の効果により、景気は緩やかな回復基調で推移
- 世界:アメリカが経済、金融政策において世界経済を牽引。欧州経済回復基調
- 中国は安定成長路線。その他新興国は成長鈍化

■マウンター需要は、ほぼ横ばい

- 市場規模:2013年度 約2,000億円(上期1,100億円、下期900億円)
2014年度 約2,000億円(上期1,100億円、下期900億円)見込
- 短期展望:スマホ、タブレットが牽引するも、技術、部品の汎用化により
サプライヤー毎の差異が少なくなる→価格競争が激化
生産拠点の分散及び本国回帰
- 中期展望:中国その他新興国を中心に底堅く推移
中国ローカルブランドの成長、グローバル化
中国一極集中からアジア全土への生産拠点拡大
米州、欧州も車載、工業用製品生産、インフラ関連により、底堅く推移

➤ 市場の変化への迅速かつ柔軟な対応

- ・ 高精度、高密度、混載、基板内蔵など高付加価値実装
- ・ 高品質、高稼働率、自動化要求への対応

電子部品組立機事業

事業戦略

トータルソリューションビジネスの拡充

営業

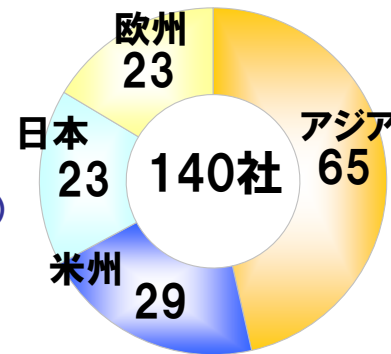
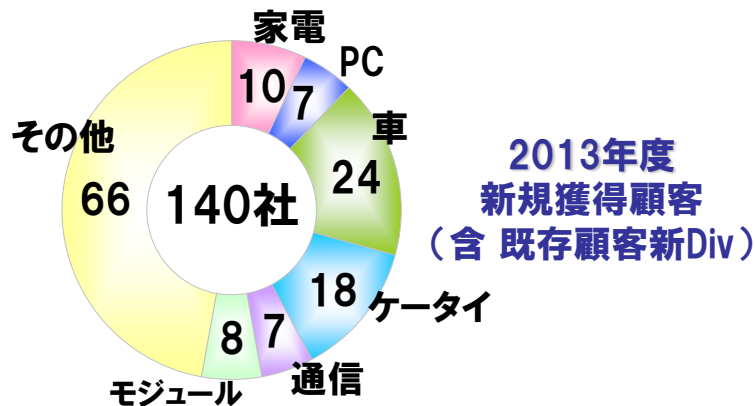
- ▶ 市場開拓・新規ユーザーの獲得、マーケットシェアの向上
- ▶ 中国・東南アジアの販売網拡充、代理店の育成
- ▶ セールスツールの徹底見直し
- ▶ 営業・開発・生産 三位一体の活動による顧客満足度向上

開発

- ▶ 高付加価値実装、自動化・省人化対応
- ▶ トータルソリューションの提供 - SMT後工程への取り組み
- ▶ 徹底したVA、コストダウン設計

生産

- ▶ 競争を圧倒する品質の提供、生産改革、短納期対応
- ▶ サプライチェーンの強化によるQCDの徹底



2009年度	98社
2010年度	178社
2011年度	137社
2012年度	103社
2013年度	140社

工作機械事業

『利益体質の構築』

事業部方針

事業環境・戦略

■ 内需が堅調な伸び、外需も底打ち感

- 米国は堅調に推移、欧州は回復基調、中国・アジアも低迷から脱却
- 日工会の2013年受注額は1兆1,100億円
中国需要の更なる持ち直し、国内、米国の好調な需要に期待

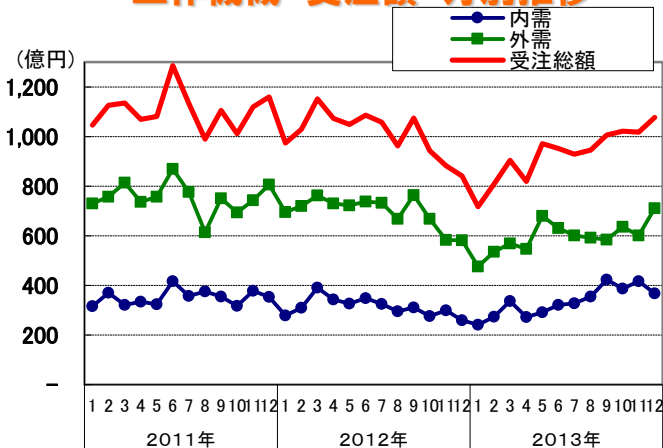
◆ 新コンセプトマシン「DLFn」機能拡張およびマーケットシェア拡大

- 自動車産業をターゲットとした市場戦略
- 新興国での販売力強化

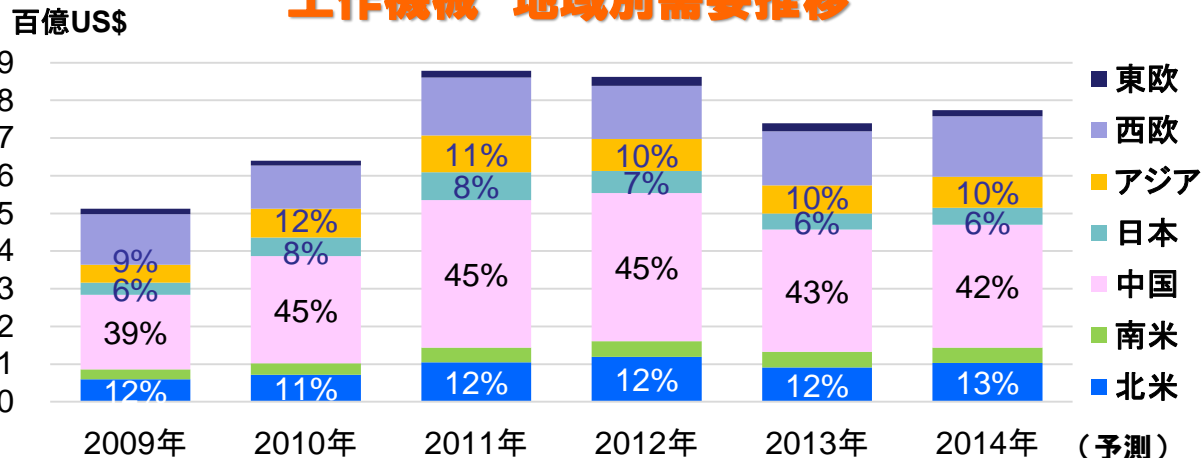
◆ 事業基盤の徹底強化

- 生産効率のあくなき改善、昆山富士での現地生産体制の拡充

工作機械 受注額 月別推移



工作機械 地域別需要推移



事業展開

■既存事業のさらなる拡充

- ▶ 電子部品実装ロボット
- ▶ 工作機械
- ▶ 組立ロボット



モジュール型多機能装着機
「NXT III」



モジュール型生産設備
「DLFn」



モジュール型自動組立機
「SmartFAB」

■既存技術を応用した新分野への事業展開

- ▶ パブリックストックシステム
- ▶ アシストロボット
- ▶ プラズマ処理装置



パブリックストックシステム
(実証実験中)



アシストロボット
(開発中)



超高密度大気圧プラズマユニット
「Tough Plasma」

■M & A等による事業展開

- ▶ シナジー効果の得られるビジネス
- ▶ 新しい領域、異次元の事業領域へのチャレンジ



FUJII

innovative spirit